

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	消防団人件費支給事務		会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
			予算科目	9 款 1 項 2 目	事業番号	3910	所属長名	新田 亮仙
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	楠本 員三	
法令根拠等	伊予市消防団の設置等に関する条例					実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造						【終了】	平成 年度（予定）
	安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり							■ 設定なし
総合計画における本事業の役割								
事業の対象	伊予市消防団員			事業の目的	伊予市消防団の設置等に関する条例第7条に基づき、それぞれの職名に応じた報酬を支給する。			
事業の内容（整備内容）	消防団員の年報酬を支給する。			昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
財源内訳	直接事業費	222,247	22,586	0	0	0	22,267	年報酬	千円	22247	22586	11146	22267
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
一般財源		222,247	22,586	0	0	0	22,267						
職員の人工（にんく）数		0.00	0.00				0.00						
1人当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費＋人件費		222,247	22,586				22,267						
主な実施主体				実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）							29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計	
							22,586	22,586	22,586	22,586	22,586	112,930	
成果指標	指標	改正報酬額の継続支給				単位	⇒	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標 毎年度	
								目標	22586	22586			
	指標設定の考え方	消防団員の処遇改善を図り消防団の充実に資する。				実績		22247	22267				
								指標で表せない効果				消防団員の処遇を改善することは、消防団員の確保の困難性のハードルを下げる。	

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）		「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたことに伴い、 、 当市の消防団員報酬が改正され、消防団員の処遇が改善されたことは、少子高齢化による 消防団員の減少や消防団員確保において、一定の効力を発生すると認識している。									
事業 											

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐			
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐			
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐			
☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	